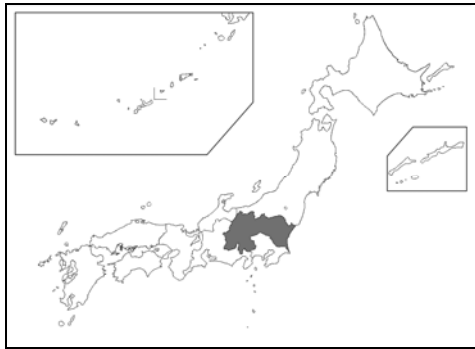


(3) 北 関 東



北関東地域では、景気は緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は緩やかに持ち直している。
- ・ 雇用情勢は改善の動きがみられる。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(_ は上方に変更、 _ は下方に変更)

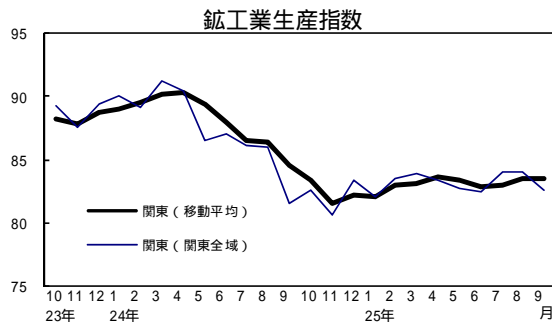
前回調査からの主要変更点

	前回(平成25年8月)	今回(平成25年11月)	
景況判断	持ち直しの動き	緩やかに持ち直し	
鉱工業生産	持ち直しの動きに一服感	持ち直しの動き	
住宅建設	大幅に増加	増加	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。(関東全域)

7～9月期には、輸送機械は、軽乗用車の新型車の生産が好調だったこと等から増加した。化学は、化粧品、合成ゴム、フェノールが低調だったこと等から減少した。一般機械は、米国向けの蒸気タービン部品、機械プレス、渦巻きポンプ等が好調だったこと等から増加した。電気機械は、猛暑の影響によりセパレート型エアコンや、米国やタイ向けの医用X線装置が好調だったこと等から増加した。食料品・たばこは、たばこ、牛乳が好調だったこと等から増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		4～6 月期	7～9 月期	7月	8月	9月
輸送機械	15.2	0.3	0.8	3.4	1.5	1.1
化学	13.4	2.6	2.3	5.0	0.1	-
一般機械	13.2	4.2	4.9	2.4	4.1	8.9
電気機械	7.8	3.1	1.6	5.1	2.6	7.9
食料品・たばこ	7.1	3.6	2.2	0.2	0.6	-
鉱工業	100.0	0.5	0.8	1.9	0.0	1.7

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

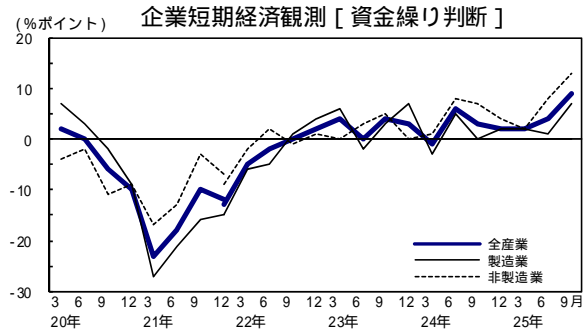
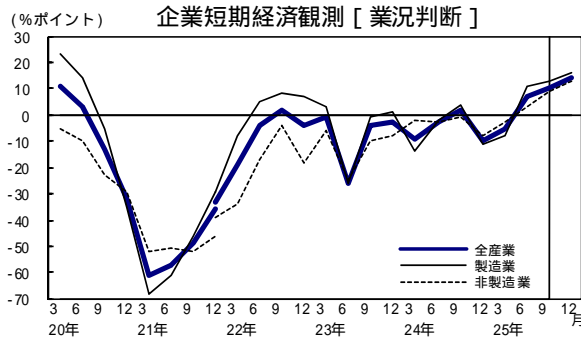
2. 7～9月期、9月は速報値。月別の化学、食料品・たばこは、速報値では公表されていない。

(備考) 1. 17年=100、季節調整値。最新月は速報値。

2. 太線は後方3か月移動平均。

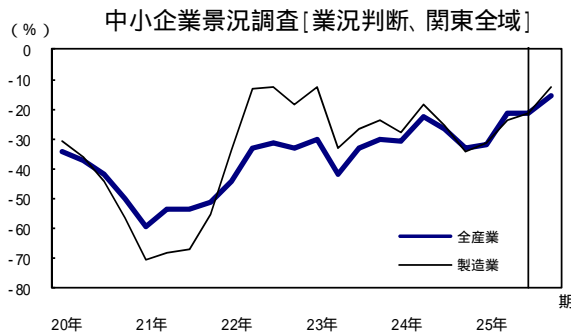
(2) 企業動向の業況判断は「良い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ拡大している。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。25年12月は予測。
21年12月は新・旧基準を併記。
日本銀行前橋支店管内。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
21年12月は新・旧基準を併記。
日本銀行前橋支店管内。

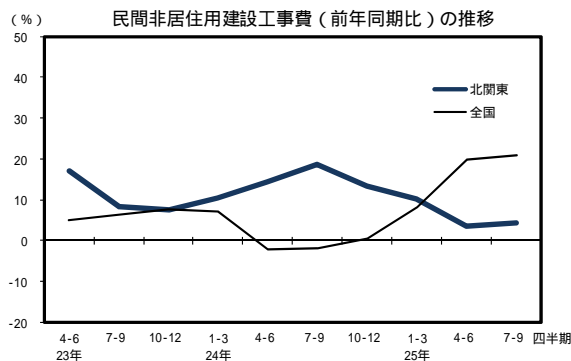


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。25年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(10月)[企業動向関連(現状)]

「自動車関連の試作開発案件、航空関連の開発案件が活発に動き出してきた。また、建設機械関連もこれ以上は落ち込まないと、取引先から情報が入っている(一般機械器具製造業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は増加している。



企業短期経済観測調査 [設備投資(9月調査)]

(前年度比、%)

	24年度実績	25年度計画
全産業	3.0	1.6(1.1)
製造業	6.4	4.1(2.2)
非製造業	4.4	3.5(7.6)

(備考)()は前回(6月)調査比修正率。
日本銀行前橋支店管内。

(3) 北関東

2. 需要の動向

(1) 個人消費は緩やかに持ち直している。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

7月は前月比1.1%減、8月は同1.1%増、9月は同0.2%増となった。

大型小売店販売額

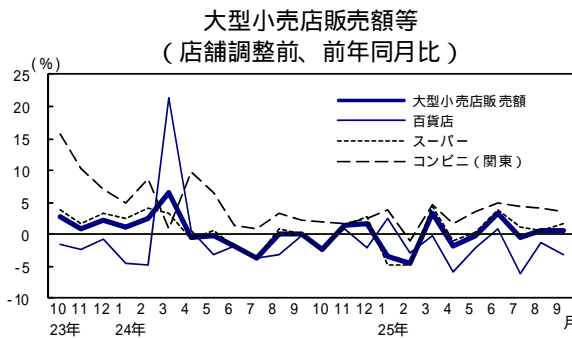
百貨店は、7月は、夏のセールの前倒しの反動により婦人・子供服・洋品等が不調だったこと等から前年を下回った。8月は、宝飾品・高級時計等のその他の商品や身の回り品が好調だったこと等から前年を上回った。9月は、秋物衣料に動きがみられた婦人・子供服・洋品等が好調だったこと等から前年を上回った。

スーパーは、主力の飲食料品が堅調だったこと等から前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (10月) [家計動向関連 (現状)]

北関東地域の家計動向関連DIは、46.5となり前月より0.6ポイント低下した。

「景気も多少減速感があるが、それ以前に中心市街地の衰退が著しく、ここ半年急激に悪化している (高級レストラン)」など「やや悪くなっている」とする回答が増加した。

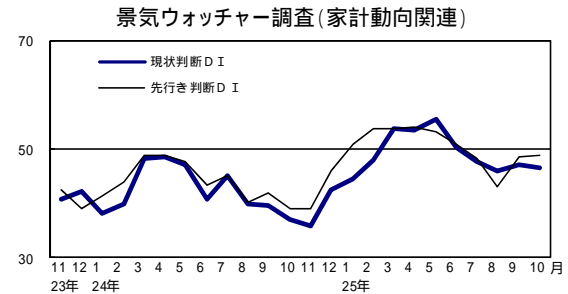
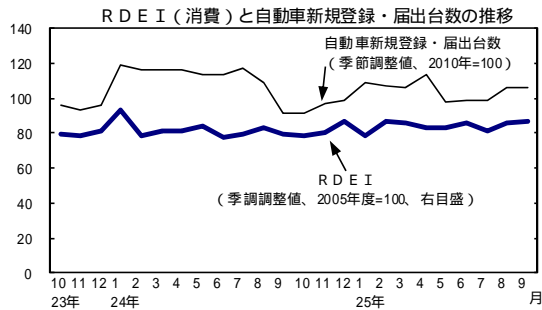


	25年7-9月	25年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	0.1	1.1	1.1	0.2
大型小売店 (*2)	0.3	0.4	0.5	0.7
百貨店 (*2)	3.8	6.1	1.3	3.2
スーパー (*2)	1.1	1.1	0.7	1.6
コンビニ (*2)	4.0	4.4	4.0	3.6
乗用車 (*3)	0.1	12.3	4.2	18.2
(季節調整値) (*3)	0.4	0.1	7.5	0.2

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)、コンビニは、関東全域

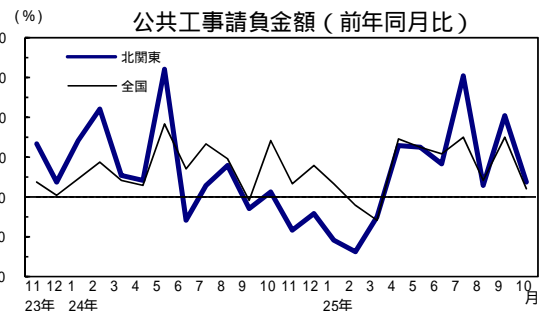
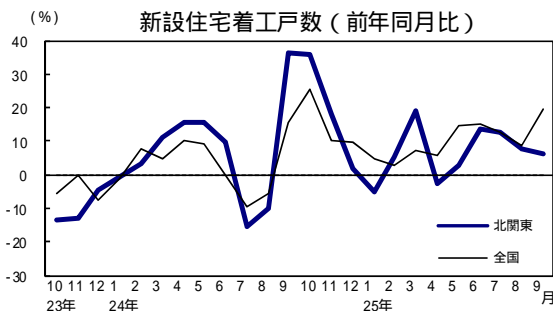
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



(2) 住宅建設は増加している。

貸家が前年を下回ったものの、持家、分譲が前年を上回ったことから、全体では増加している。

(3) 公共投資は25年度累計で見ると前年度を上回っている。

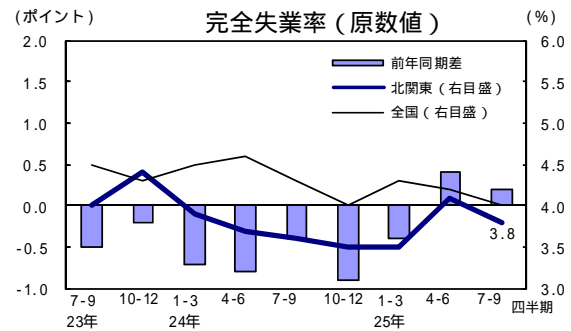
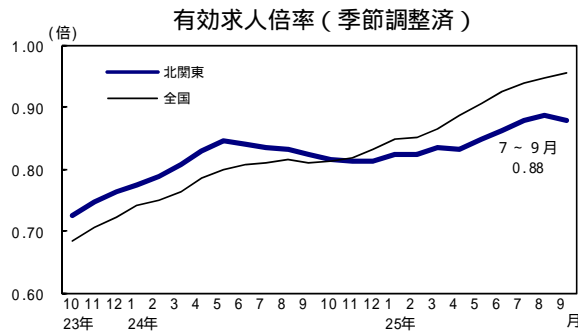


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は改善の動きがみられる。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を上回っている。



景気ウォッチャー調査 (10月) [雇用関連 (現状)]

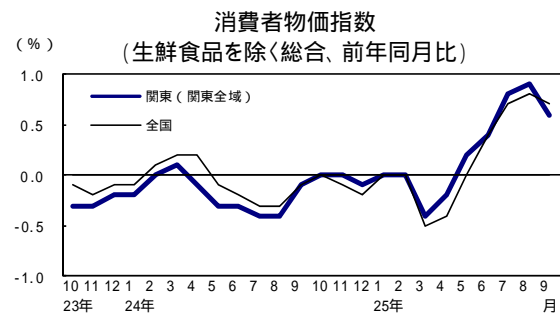
「企業訪問で景気の状態を尋ねても、良くなったという実感がない(職業安定所)」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数は減少しているものの、負債総額は増加している。

(3) 消費者物価指数は前年比の上昇幅が拡大している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	24年10-12月	25年1-3月	4-6月	7-9月	25年10月
倒産件数	148	149	144	130	49
(前年比)	5.1	6.3	8.9	13.9	7.5
負債総額	278	423	350	289	65
(前年比)	72.6	6.8	30.4	3.4	36.8



景気ウォッチャー調査 (10月) [合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

・今までになく車の販売が好調である。購入に至るまでに要する時間が短くなっている(自動車備品販売店)

<先行き>

・朝晩大分冷え込んできたが、その分ホット商材が動いている。これから観光シーズン、クリスマス、年末年始と、攻めるチャンスはたくさんある(コンビニ)

景気ウォッチャー調査
(合計：家計動向関連+企業動向関連+雇用関連)

